

第32軍司令部壕保存・公開検討委員会

第4回会合 議事概要

日時：令和3年12月27日(月)

午後2時～午後4時15分

場所：沖縄県自治研修所4階401・402研修室

—【委員】—

法律	玉城 辰彦	ていだ法律事務所	弁護士
経済／観光	下地 貴子	(一財)沖縄観光コンベンションビューロー	受入事業部長
沖縄戦研究	吉浜 忍	元沖縄国際大学総合文化学部	教授
戦跡文化財	大城 和喜	元南風原文化センター	館長
応用地質学	佐々木靖人	国立研究開発法人土木研究所	理事
地盤工学	伊東 孝	国立大学法人琉球大学工学部	教授
トンネル工学	小泉 淳	早稲田大学	名誉教授
地域振興	宮良 吉雄	首里自治会長連絡協議会	会長
平和教育	仲泊 和枝	(特非)沖縄平和協力センター	理事長
情報技術	永井 義人	(一財)沖縄ITイノベーション戦略センター	専務理事

—【事務局】—

沖縄県子ども生活福祉部 女性力・平和推進課 / 保護・援護課

沖縄県土木建築部 都市公園課

沖縄県教育庁 文化財課、県立学校教育課

那覇市 平和交流・男女参画課

日本工営株式会社

—【議事概要】—

1 開 会

2 第3回会合議事概要確認

3 報告事項

(1) 文献調査中間報告、(2) 基礎調査中間報告 (3)意見交換・質疑応答

4 議事内容

(1) 保存・公開に向けた今後の取組について、(2) 詳細調査方針について

(2) 意見交換・質疑応答

意見交換・質疑応答

○応用地質学 佐々木委員

- ・ インテリジェンス・モノグラフの図面と三次元測量での図面の一致の度合について教えてほしい。インテリジェンス・モノグラフの図面がほぼ正しいなら、第1坑道のボーリング調査の位置は、この図面を頼りに調査をすることが効率的。関連して、シャフトAは、今既に入れている坑道のところに一部かかっているようにも見えるが、そういう状況は見受けられたのか。

○日本工営株式会社

- ・ 平成5年・6年度に試掘調査を行ったときに、坑道内の測量をかけており、今回坑道内のレーザー測量（三次元測量）をかけたことで、平成5・6年度の試掘調査と壕の位置関係がおおむね一致していることを確認している。
- ・ 今後、実態を把握していく第1坑道については、平成5・6年度の試掘調査でも内部に入れていないため、インテリジェンス・モノグラフの精度が一番高いであろうという見込みのもとで、物理探査で詳細な位置を絞り込み、ボーリング調査で位置や内部状況を直接的に確認するという作業になる。
- ・ シャフトAについては現時点で壕内部に壁面にも支保工が入っており、シャフトAの入り口であったのではないかとこの場所については目視確認ができない状況である。平成5・6年度の報告書を見ても、この部分にシャフトAの入り口があったのではないかという記載がないため、地上部から地中レーダー等で調査をしていく必要もあると考える。

○トンネル工学 小泉委員

- ・ 米軍の調査はかなり精度がいいようなので、これを基にして、立坑（シャフトA・B）の位置を特定できるのではないか。
- ・ 壕周辺にかなり井戸があるが、この井戸を使って地下水の流向と流速が測れるのではないか。そうすると、地下水がどちらに向かってどのぐらいの速さで流れているかがわかるのではないか。同様に大雨の後に壕内部が湛水し、その後、非常に長い時間をかけて水が抜けていく。これをポンプで抜いてどのぐらいで復水するかということ調べると、その周辺の地盤の透水係数、すなわち水が単位時間あたりにどのぐらい移動するかがわかるのではないか。これから保存・公開する上で、水は非常に重要なポイントになってくる。

○日本工営株式会社

- ・ 立坑（シャフトA、B）の位置については、次年度調査で大体の位置が推定できるように取り組んでいきたい。
- ・ 水没や湛水の状況については、自記水位計を用いた地下水位の連続観測をして、どの時期に水没や湛水が生じ、どのくらいのタイミングで水没や湛水が解消していくということをきちんとデータを取って評価させていただく。
- ・ 次年度に井戸調査を実施し、地下水面形状の分布や、地下水の流向・流速等を把握したい。

○情報技術 永井委員

- ・ 32軍壕に関して既存の研究者や論文などは存在しているのか。全くの新規でオフィシャルな資料から一から調査が始まっているという状況なのか教えてほしい。

○沖縄県子ども生活福祉部（文化振興会）

- ・ これまで32軍司令部壕の体系的な先行研究がないような状況である。米軍資料のインテリジェンス・モノグラフや日々命令綴などが沖縄県史とかにも報告されており、それを頼りに情報を肉づけしたり照合したりしているところである。

○沖縄戦研究 吉浜委員

- ・ 資料収集の件で、県民は相当期待している。現在集めたものを県民に公開することはしないのか。

○沖縄県子ども生活福祉部

- ・ 今年度中に報告がまとまると思うが、中身を精査した上で、何を公開できるかしっかりと検討していきたい。

○トンネル工学 小泉委員

- ・ 情報公開について、今デジタル技術はものすごく進んでいる。VRとかARなど、あたかも自分が中へ入ったような感覚で公開することもできるので、できるところから公開すると、県民や市民の方々の興味が非常に高まるのではないかと思う。
- ・ 展示館を造る場所や規模、壕を公開する場合の坑口部などをあらかじめ想定し、土地の手当てなどを早め早めに考えておくことも必要になると思う。

○沖縄戦研究 吉浜委員

- ・ 第1坑道の調査は、坑口だけでなく、周辺戦跡も一緒にやってほしい。また、第5坑口の前の発掘調査もやってほしい。

- ・ 一般的なロードマップは、例えば首里城だったら令和8年再建完成、逆算して年度内に何をしていくかというのを示すが、ロードマップ案をみると短期、中期、長期と書いていつ公開なのか分からない。令和8年の首里城再建と一緒に公開したほうがいいのではないか。
- ・ できるものを徐々に県民に可視化していくことが必要だろう。全部パーフェクトではなくて、どういう公開ができるかということを読み出せばいい。
- ・ 次回までにロードマップを修正してほしい。

○戦跡文化財 大城委員

- ・ 県からの提案というところで、公開に適した部分と文化財として保存していく部分を判定するとあるが、この文面からすると、文化財に指定したところは公開しないのかと受け取った。そうではなくて文化財指に指定したところも公開する。入れるところは全部公開すべきである。
- ・ 令和8年に首里城は再建される。32軍司令部壕も一部でもいいから公開できるところからやり徐々に拡大していけばいい。県民はそれを待っている。
- ・ ロードマップ案をみると年度ごとの具体性がない。公開年を決めて、逆算して年次毎に何をすべきか示してほしい。

○応用地質学 佐々木委員

- ・ 早めに公開できる場所は第5坑道だと思う。第5坑道を公開できるかどうかは安全性の検討を早めにやることが非常に重要である。
- ・ 安全性検討の中に坑道の上部（天端）の岩盤状態を調査することを入れ込み、早めに公開できる方法を考えたらどうか。

○地域振興 宮良委員

- ・ 基本的には今後の取組に賛成だが、正殿完成までに第1坑道の入り口や、史跡の話とか平和についての話が関連して出てくると思うので、周辺調査や発掘調査が間に合えばいいと思う。

○平和教育 仲泊委員

- ・ スケジュールでは、令和3年度末で文献調査が終わると書かれてあるが、それ以上はやらないのかが気になる。文献や証言を取りまとめるワーキンググループのようなものがないかと思っている。令和3年度末で終わるのではなくできるだけ続けてほしい。

○経済／観光 下地委員

- ・ 首里城と一緒に令和8年度には何らかの公開ができるようなロードマップをつくってほしい。
- ・ 今、県庁のロビーに民間の方が作った立体模型がある。分かりやすいものができているので、首里杜館とか首里城の場所で見える化すると、県民にとっても目で見てしっかり確認することができるのではないかな。
- ・ 第5坑道が一番早く見せながら公開ができる場所だと思う。第5坑道を公開できるよう準備を進める中で、坑口近辺はマンション等がつくられており、周囲の土地の管理をどのようにしていくか検討しないといけない。

○地盤工学 伊東委員

- ・ 第1坑道を調査して公開していくにはかなり時間がかかるということで、第5坑道、第2・第3坑道をとりあえず公開できるかどうか、地上部の地盤変位や坑道内内空変位に係るモニタリングを早くやったほうがいいと思う。
- ・ 地下水の把握はとても大事である。広域的な地下水の動きと局所的な水の流れを同時に把握できたらと思っており、ぜひ検討してほしい。

○情報技術 永井委員

- ・ 首里城の復興プロジェクトとシンクロさせたほうが県民の理解や、世界の人たちが注目すると思う。令和8年には何かしらのアウトプット、成果物、マイルストーンを持ってくるような設定は非常に大事だと思う。
- ・ 最近、プロセスエコノミーという言葉がある。首里城も今つくっているところを見せられている。施設ができたので来てくださるのではなく、来年から情報発信をしていきながら色々な方々を巻き込んでこのプロジェクトを進めていきたいので、そういうことを視野に入れた情報公開をすると、すごく未来へつながっていくと思う。

○法律 玉城委員長

- ・ Webツアーだけでなく、Webでの公開も考えなければまずい。令和8年には首里城が完成するので、32軍壕はどうなっているんだという問いが必ず出てくるだろう。今こういう事をやっているというのを公開しながらやる。首里城が実際そういうことをしているの、第32軍司令部壕も同じ格好で進めていけると考えている。

6 閉会